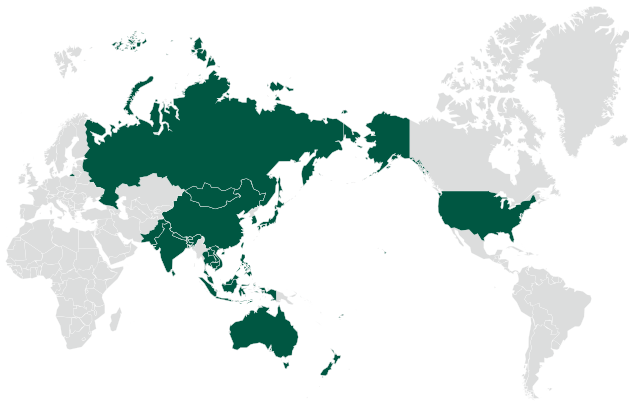


日本における活動

公募型プログラムのもと、日本に所在する大学及び研究機関における研究と能力開発を助成しています。2010年-2015年の第3次計画では、約30の大学及び研究機関が支援を受け、加盟国の中で最も多い数となっています。

APN事務局が兵庫県神戸市に置かれていることから、県民向けのシンポジウムをとおした環境に関する啓蒙活動に努めています。以下は、APNが実施したシンポジウムの一例です。

- ▶ 国際シンポジウム：固定価格買取制度を踏まえた再生可能エネルギーの普及（2013年）
- ▶ 国際シンポジウム：新興国への低炭素技術の適用促進（2014年）
- ▶ 北摂 SATOYAMA 国際シンポジウム（2014年、2015年、2016年）



APNのネットワークを活用し、環境省等の事業を受託・運営しています。以下は、APNが実施した、または実施予定の事業の一例です。

- ▶ 我が国循環産業の海外展開促進に向けた実現可能性調査等統括業務：廃棄物処理及び3Rに関する国際ワークショップ（2016年、2017年）
- ▶ IPBES能力構築プロジェクト：地域アセスメント成果を政策決定に活用するための科学と政策対話（2017年、2018年）



アジア太平洋
地球変動研究ネットワーク



APNが実施しているプログラム及び活動を詳しく知りたい方は、下記リンクをご覧ください。
www.apn-gcr.org/resources

© 2016 APNセンター
〒651-0073
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター東館4階
info@apn-gcr.org

Find us on



www.apn-gcr.org

APN について



アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN) は、1990 年に開催された「地球的規模の変動に関する科学的・経済的研究についてのホワイトハウス会議」にて提案された、世界を「南北アメリカ」「欧州・アフリカ」「アジア太平洋」の 3 極地域に分け、各地域に政府間の地球環境研究支援ネットワークを形成し、地球環境に関する国際協同研究を推進して行くという考えのもと、アジア太平洋地域のネットワークとして 1996 年に設立されました。現在、アジア太平洋地域の 22 ヶ国が加盟しています。

APN の目標

政策策定のための科学的根拠の確立を目標に、アジア太平洋地域における地球変動研究の域内協力、データの収集・分析・交換及び能力開発を推進します。

APN の主な活動領域

- 気候の変動
- 沿岸域と内水域における変化
- 陸域生態系及び生物多様性
- 資源の活用



これらの活動領域において目標を達成するため、APN は主に 3 つの事業を推進しています。



地域共同研究

テーマ自由型プログラムとテーマ指定型プログラムから成る公募型の競争的研究助成に基づく地域共同研究は、アジア太平洋地域における地球変動の実態とその影響について理解を深め、地球変動に対応するための政策に科学的知見を活用することに努めています。

能力開発

公募型の競争的能力開発プログラムは、発展途上国における若手科学者、政府関係者その他のステークホルダーの能力向上をとおして、地球変動の課題を評価し、適切な施策を実施することにより、アジア太平洋地域の持続可能な発展を目指しています。

科学と政策の連携

科学者と政府関係者の関係を構築し、対話を促進することにより、科学的な根拠に基づく政策の策定に貢献することを目的としています。2012 年より、研究機関、政府、国際機関、NGO 等、様々なステークホルダーが一堂に会し、地球変動に関する政策の策定と施行について議論する「科学・政策対話」を開催しています。



“ COMBATING GLOBAL WARMING IS AN ESSENTIAL CONDITION TO PROVIDE THE WHOLE WORLD WITH **FOOD AND WATER**, TO **SAVE BIODIVERSITY AND PROTECT HEALTH**, ... AND TO GIVE **SUSTAINABLE DEVELOPMENT AND LIFE A CHANCE**.

「地球温暖化を防ぐことは、全世界への食糧と水の供給、生物多様性の保全と健康保護の必須要件であり、持続可能な発展と生命にチャンスを与えることです。」

ローラン・ファビウス
国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議 (COP21) 議長
フランス共和国外務・国際開発大臣
(2015 年 12 月)